

マーケットの動き（2021年8月23日～8月27日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。株高が進行する世界的なリスクオン環境に加え、ジャクソンホール会議でパウエル議長が将来の利上げに慎重な姿勢を示したことから、米ドルは日本円を除く主要通貨に対し下落する展開となりました。ユーロは、対円、対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2021年8月）

円に対して、米ドル、ユーロともにレンジ内での動き

米ドル：米国では、ISM景況感指数が製造業、非製造業ともに高水準を維持し、雇用情勢のさらなる改善が見込まれますが、新型コロナウイルスの変異株感染拡大に対する懸念や追加の財政政策成立を巡る先行き不透明感もあり、米ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。

ユーロ：ユーロ圏では引き続き製造業PMIは高水準を維持し、サービス業は上昇基調となっています。ECBは戦略見直しを行い、インフレ目標を中期的に2%とした上で一時的な上振れを容認する方針に変更しました。ユーロは強弱材料交錯の中、円に対してレンジ内で推移するとみています。

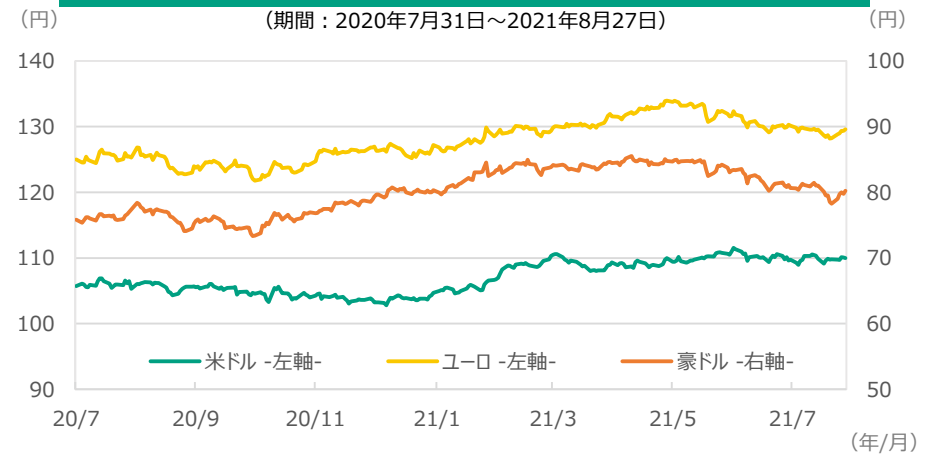
	8月27日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	109.98	0.17	0.17	3.33	3.53
ユーロ/円	129.62	1.37	▲0.23	1.09	4.12

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

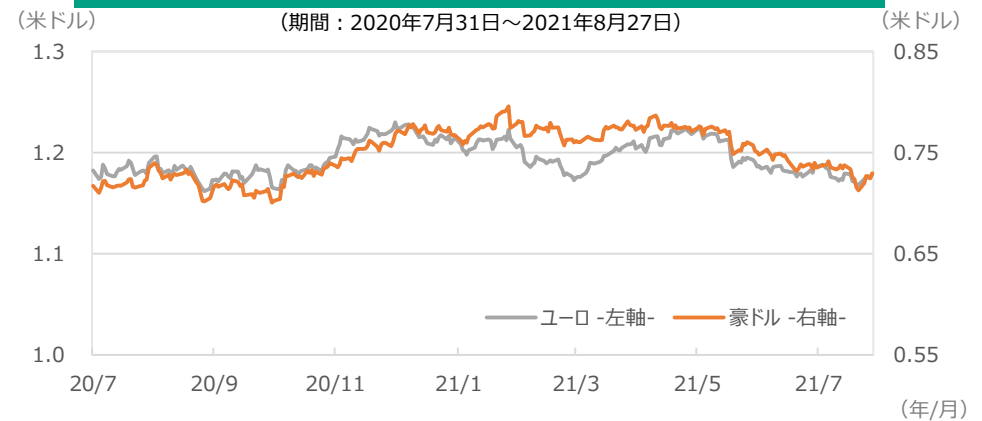
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202108_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>